

## 資源のみち委員会（第6回） 議事概要（案）

---

日 時 平成19年2月9日(金) 10時00分～12時00分

場 所 財団法人下水道新技術推進機構 6階会議室

出席者 委 員 長 津野委員

委 員 堀尾委員、横山委員、大谷委員、増田委員、清水委員、堀江委員、  
小菅委員、竹中委員（欠席：高橋委員、貫上委員、尾関委員）

---

### 議 事

- 1．資源のみち実現に向けた基本的な考え方及び推進施策（案）について
  - 2．報告書（素案）について
- 

### 議事概要

基本的な考え方及び推進施策（案）について

リーディングプロジェクトを押し進めていくためには省庁連携が重要である。下水道から他省庁への依頼事項について、可能な範囲で列挙できるとよい。

ディスポーザーのポジティブな面（利便性、高齢者に優しい等）を加筆すること。

省エネ・創エネ機器に対する補助制度についての検討が望まれる。

エネルギーマネジメント、アセットマネジメントについても言及すること。

下水道の資源・エネルギーのユーザーをどのように見つけていくか、データベースや制度面の検討が望まれる。

地域の要望に応じたエネルギー媒体への変換についても言及すること。

下水道から発生する現状のエネルギー媒体を社会的にうまく活用することも重要である。

リン回収に関しては、戦略物資としての方策（備蓄）についても検討すること。

報告書（素案）について

報告書の前段に、下水道の目的の変化（資源循環の方向へ）のイメージ図を追加すること。

処理場が有するポテンシャルの例を明示できるとよい。

下水道がバイオマスを取り込むことでCO<sub>2</sub>の発生量が増加する場合がある。化石燃料由来のCO<sub>2</sub>を区別し、整理しておく必要がある。

N<sub>2</sub>OとCO<sub>2</sub>がトレードオフの関係となる場合があり（例：高温焼却）、報告書中の表現を整理しておくこと。

報告書の取組（第4章）に、地球温暖化対策を明示すべき。